

令和3年度
学校関係者評価報告書

令和4年6月
獨協医科大学附属看護専門学校

1. 領域別評価

1. 教育理念・目的・期待する卒業生像	建学の精神に則り、社会からのニーズに即した教育目標・教育理念が定められ、育成したい看護師像がうかがえる。 コロナ禍で難しい側面もあるが、国際人として活躍できる看護師の育成にも期待している。
2. 学校運営	教務委員会・学生生活委員会の新設により、所轄事項が明確になり、諸問題を柔軟に対応できるので大いに評価できる。 教職員（特に教員）の人事評価に業績が反映されることがモチベーションに繋がるので検討することを期待する。
3. 教育活動	シラバスに成績評価と基準の項目をもう少し詳しく記述すると学生の自主性を伸ばすことに繋がるのではないかと。 教育方法にキャリア支援講座を導入し、看護職として自立に向けて育成していることは大変よい。看護職は、専門職であることを学生時代から意識していくことはキャリア形成に繋がる。
4. 学修成果	国家試験の合格率は全国平均を上回り、100%合格を目指し学校を挙げて段階的に取り組んでいる点は評価できる。今後も学生の個別性を重視した指導を期待する。 他施設に就職した者の動向について、ニーズ調査や情報提供の依頼をしていることを今回知ることができた。
5. 学生支援	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みについて検討してはどうか。 コロナ禍ではあるが、オンライン授業を行い授業を継続できている努力が伺える。学生が適切な学生生活を送れるよう支援し、また、中途退学した学生の調査を通して、学生の本音から現状を分析し、退学率の低減に繋がる対策が講じられるとよい。
6. 教育環境	校舎の老朽化や限られた建物の中で学習効果を高める環境を提供するのは、困難であると思うが、適切な教育環境の提供は、学習効果を高めると共に学生や保護者に選ばれる学校に繋がる要素である。適切なメンテナンスや優先順位を考慮した対応がされている点は評価できるが、全学的な問題なので粘り強く計画的に改善に向けて取り組んでほしい。 電子教科書などITに関しても積極的に取り入れていると思うが、ぜひ教育効果の検証をお願いしたい。
7. 学生の募集と受入れ	少子化や18歳人口の減少する社会情勢の中で、医療現場に相応しい人材を輩出していくために学校の独自性や附属の3病院に就職できる強みなどをよりアピールできる広報活動を期待している。特にパンフレットは高校生向けの表記やデザインになっているのか検討して訴求力を高めていく必要がある。 コロナ禍によりふれあい看護体験やインターンシップなど受け入れが中止となり、また、オープンキャンパスもオンラインなど雰囲気を感じることが難しく、高い志を持って入学しても看護職・学校選びでのミスマッチなどが考えられ、オンラインで開催したから十分適切な評価はいかがかと考える。

8. 財務	経費削減と学習環境の整備等に必要とされる経費が相反するかどうかと思うが、特に教員の充実など人材確保に伴う経費が確保できることを期待する。
9. 法令等の遵守	関係法令に基づき学校運営されている。 令和2年度から学校関係者評価を実施し、公表されていることや独自の個人情報保護規程の整備がされた点も評価できる。
10. 社会貢献・地域貢献	長引くコロナ禍で活動ができないことは残念だが、専門職を目指す学生の将来に影響がないよう社会貢献、地域貢献が意味することを机上で学習できる機会があるとよい。 これからは、with コロナの時代と言われ、ボランティア活動の方法も検討し、ぜひ社会や地域に貢献してほしい。

2. 総括

開学48年目を迎える歴史と伝統のある学校であり、適切に学校運営がなされている。教育理念・教育目標に基づいた看護師を育成するため、教育活動や学生支援に取り組み、高い看護師国家試験合格率を維持していることから、学校が一丸となって鋭意努力をしていることが伺える。社会情勢や医療を取り巻く状況が厳しい中、長引くコロナ禍においては教育環境を整えながら進めることは大変であると思うが、専門職として広く社会や地域に貢献できる看護師の育成を期待する。